



小田 薫 展
「街のかたち」

Photo by Halca

















小田 薫

×

Halca

9月初旬

東京からまっすぐのびた一本道に
少し高くなった秋晴れの青い空が出迎えてくれるように
小田薫さんのアトリエまで続く。

列車のコンテナを改造したアトリエは
ローズマリーと鉄のキリッとした匂いが混ざり合って
独特の雰囲気を作り上げ
薫さんのゴツゴツと音を鳴らすブーツや
焼け跡のついたワークパンツやグローブ、
重厚感のある使い込まれた道具たち
不必要なものがひとつもない
研ぎすまされた空間に感動する。

当初私の鉄の印象は冷たく固く尖ったものだったが、
薫さんの作品は暖かく柔らかく優しい。
なぜそんなにも変化するのかという
最初は不思議だった事が
作業の工程をみてようやくわかった。

鉄に熱を加え金づちで力を加え
必要な部分を切り取り形成する。

熱は上がったたり下がったり
形をかえるたびに少しずつ匂いを変化させる姿は生き物のようで
いつか錆が出るときでさえも
きっと強さを教えてくれる。

自分の思いを届け
鉄からの反応を受けとっていく。
互いに分かち合い
優しさが生まれる。

撮影後手渡された小さな作品のかけらは
少しあたたかく
薫さんに似たやさしさを感じた。

Halca

小田 薫展
「街のかたち」

2012.11.11(sun)-12.8(sat)

galerieH